[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-001
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

17.10-6 国会図

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-002

国立国会図書館

うるとやおもひ業ゞ産な秋を
きく秋草花の数を前もちて
ゞ面まくあとを秋首て枯野よ
はたく虫乃音も弟を打しせゝか
ちゝ泣あまくく　中詞　役船をまち
せうひへこさしふけるまくは
　三下上句
業苔乃照めらりして僧寺ハ

うへ里ゞ業あらかハ以て男原
　一八一　ノト
明ゆるゆふまくれめ家
　一拜
面白さよゞ秋出とり野ハを
角乃返年まて　上元　萩乃ほかく体
　レ元　ノ　ナ　中詞
霞乃た下　なふし役船ハさふ
なふ　三詞　あふ呂まくん船賃ハは
　中
船ハさと業乃船賃集りを

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-003
国立国会図書館

たるすハ明くは　シテ　舩賃なく是
これ此ハ此はかなひ下まし
ヤキ　如何ゆゑにてたれ是て渕瀬を
渡しふけるまでらは　シテ　なふ〳〵
是理ハ中清舩に免さ給ひ
ヤキ上カル　乃わをく祈し此ハ前者ぞと所
清に立よまさ　シテ上カル　とする所行へ此
さしよける　上三の月し　霧うわこめて秋
草ぞ〳〵　一ヌル　葉ぞと小のをやと海
月をや舩に乃を清る其天の河
大明渡里して七夕落〳〵重に
一ヌル　夫ハ古し詠をよ煙風ぬけ方
渡乃をとぞなとにちり愛海を
小舟の音明しり遊くふ日落

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-004
国立国会図書館

見なる秋持をさしぬよや見所祇
さほ成さしふよ　シテ詞　亦の義ては
清あうわんん　ヤキ詞　清毎也きては
シテ　さて船賃ハ山　ヤキ　又お世ち其心
作る秋ムよぞ為ニ申てはふ
ぼとて水猿ニ頼ぶ有ものを
所ゆう　シテ　川や船賃と申さハとて

後乃蒙ふてもんいさうが祖を
ぶほく前持たるよふ業をなと
一主と殺りまひハぬう　ヤキ　あら
屋さしや以ぶあき事ぶすほまぶ
業をもてもはきんん　シテ　さしたる
此業をたまりしぬけるふては
ヤキ　不思議や見祖多変業をの中に

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-005
国立国会図書館

ぞ花をえ手えはてめさ枝はハ
何とゆふ所以ハ枝よりうう
シテ さ世は是ハ美人等とゆへ
あ所兼まては ヤキ 慈面白やほと
ゆ調少て美人等とはゆりう
シテ こゝ枝を頂羽乃后虞氏とゆをし
ひと弟が我なけすなし是なまを

給ひし我どもなけ去中小はな
こめんへ是ぞ塚よりも出ふ所
等な枝をとてぞ美人等ハゆひ
ヤキ さらを頂羽高祖乃たゝりひ弟
猴を洗な気ははゝうと洗物語
んへ シテ さらをこうこ洗てきうを
ゆは面し 物語 さてもれ羽高祖乃

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-006
国立国会図書館

戦ひ七十餘度に及ぶ然れ
ども是ハ項羽うちかちたまひ
一度も高祖乃理なりしに
項羽乃是心かハ里しごうん法て
項羽をさをめ法ゝ四面に兜乃
聲をあゝ稱ぞ虞氏ハおもひに
堪りしまてゞかゝハさ其然ゝ

行ふ又金雲駿と云馬ハ一日に
千里をうけ法必高な稱其宝器
里高はなぬまさをびさ成於法て
一あしも趣ひ法ゞ乃附項羽を
ち法其を無ひ法ぜまよわ志法
志は然わ里ふ法てゞる呂馬童
ゞの首と法て高祖りしさゝ是

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-007
国立国会図書館

上カル
必をあけよやぞよはしれども
下月
呂馬童ハをそれてちゝの清りは
ぬこのまゝなれ夫れ心の明ぞ見よ
は乃世に語ほしへらと以ひ
あへは友をぬいてあへなくも
ゞきぞわりしひをうしなれとし
呂馬童にあらんそまゝ此處に

露ぞ消ふくわ堂雲雖ハひさ我
わ星笑なれなる我なりを冬
さ乃見ゝ祇をわりの志海苔に
うへ海方流れそぞそ清しまり
私ちうち頃羽の画灵殿きたまき
隠としつゝひてこひたまへく
上三の
横ゝに吊ぬ法の聲こそゞく

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-009
国立国会図書館

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-010
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-011

国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-012

国立国会図書館

[謡本] 項羽 1冊 WA7- 033-013

国立国会図書館